

三重創生ファンタジスタ資格 オリジナル授業



日本理解特殊講義3 「医療健康福祉実践」

実施日：8月27～30日の4日間

※最終日は台風の影響により時間を短縮

実施場所：名張市内

履修学生：三重大大学のみ

履修者：13名

参加者：9名

単位取得見込者：9名



参加学生9名は全員1年生

看護：7名

生物資源：2名

赴いた場所

- ・名張市立図書館
- ・やなせ宿
- ・はしもと総合医療クリニック
- ・旧名張市街地
- ・美旗市民センター
- ・中内組紐工房
- ・FlatBase
- ・名張市役所
- ・名張市立病院



名張市立図書館で取り組んでいる
子育て支援活動についてお話を伺う



FlatBaseの取り組み



地域住民の皆様のご取り組み
について学ぶ

地域の取り組みを知る講義



子育て支援について
の取り組みについて



ながじろうさんの取り組み
事例の実演



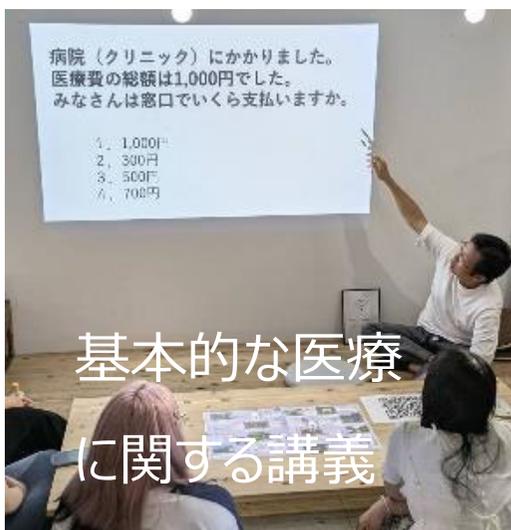
重要文化財や歴史、地域性について知る講義





名張市立病院の見学

地域医療について知る講義



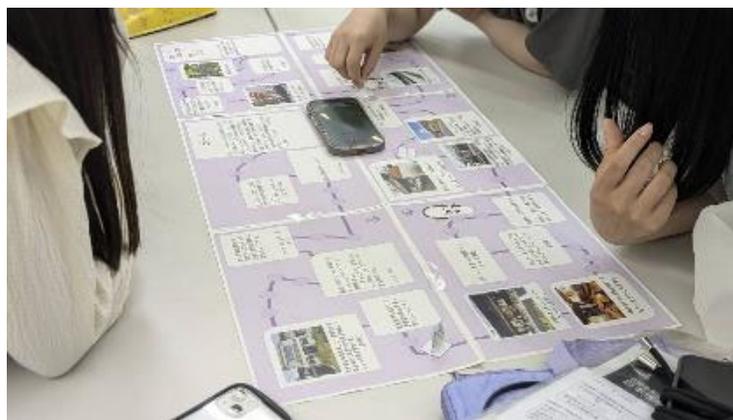
基本的な医療
に関する講義



はしもと総合診療クリニック



グループワーク：「すごろく」で地域の課題発見と解決案の提示



すごろくのスタートには、現状で地域が抱えている課題を、ゴールにはその課題が解決された明るい未来を記述する。

途中のマスには「スタート」で挙げた課題を解決するための小目標やアイデア、また予想されるハプニング等を考えて盛り込むように作成した。

※作成したすごろくの盤面は別資料

参加学生からの感想

講義を通して、名張は人の繋がりや動きが活発な魅力ある町だと感じ、名張のような雰囲気のある地域が増えてほしいと考えました。地元の三重県内に素敵な町があることが知れ、この講義に参加してよかったと思っています。特にFlatBaseが印象に残っています。名張を活発にしたいという思いがよく伝わりました。自分たちと同じような年代の人も地域活動をしていることに驚いています。FlatBaseのような地域の交流の場が自分の町にもあったらいいなと感じました。また医療・福祉についても良く知ることができました。自分が将来関わっていく医療が地域と結びついた事例を詳しく、楽しく学ぶことができたとても貴重な4日間でした。有意義な講義をありがとうございました。

三重大学
看護学科1年



三重大学
看護学科1年

今回初めて名張に来て、名張は本当に地域に寄り添っている街なんだと感じました。自分の地元ではこのような活動は無かったので、素晴らしい活動だと思いました。特に、クリニックが積極的にちいかけん活動に参加していることが、地域の人がクリニックに来た時にかたぐるしくなく過ごせる秘訣なのかと思いました。また、自分は旧町の街並みがとても素敵だと感じました。綺麗なタイルが敷いてあったり、昔から続く古本屋があったり、山と青空が大きく見えて、旧町を離れた人たちが戻って来なくなる理由がわかりました。この4日間を通して、私もどのような形かわからないですが、将来地域を明るくしていくような活動に携わりたいと思いました。そのため今たくさん勉強してがんばろうと思います。この4日間、新しい経験が沢山あり、とても楽しかったです！！ありがとうございました！

講義を通して、名張の住民が中心になって動いているという町づくりがとても興味深かったです。多くの地域で住民中心ということを掲げていると思いますが、名張では実際に住民が集まってイベントを考えたり、費用を集めたりと積極的に活動していることが他の地域との違いだと思いました。住民が中心で行うことによってより協調性が強まり、住民同士の繋がりも強まるのだと感じました。住民の繋がりが強くなると他の地域との連携が難しくなりそうではありますが、健康に関するイベントや子ども食堂など大きなイベントを何回か行い、助け合っていくことが大切だと考えさせられました。

4日間を通して、地域のために働いている方や医療に関わる方の話を聞いてとても勉強になり、看護師以外にももっともっとなんか道があって自分で可能性を狭めてはいけないなと感じました。とても有意義な時間でした。ありがとうございました。

三重大学
看護学科1年



三重大学
看護学科1年

この4日間の講義を通して名張市の人々の地元愛や自分達で町を作っていくという考えにとっても感動させられました。町の人々の力で子供や大人が楽しめるイベントを開催したり、古くからある伝統を受け継ぎ続けたりする事でずっと名張にいたいと思えるまちづくりをしていることを知り、こんなにまちづくりに活発的な町は初めて見たと感じました。また私は今回お話を頂いた全ての方に共通する考えとして、自分たちで地域に力を与えるという事が挙げられるのではないかと思います。その考えは看護にも活かせると考えました。患者が治療に取り組む力を与えられるよう、仲間同士で話し合い協力してコミュニケーションを取り、少しでも患者との距離を縮められるようにしたいです。またこの経験を生かして、私の町に何か少しでも貢献できることは無いのかと考えるようになりました。これから町で生活する上で今回学んだまちづくりを意識して暮らしていきたいです。

友達が名張に住んでおり名張について知りたかったので、この講義を受講しました。この集中講義を通して、知らなかった名張の魅力を知ることができて良かったです。古民家を改装した建物や旧町の街並みがレトロなのでとても素敵だと思いました。この街並みを後の世代に残していってほしいです。また、名張に古墳があるのを知って驚きました。通学でいつも通っている名張という町は、市民の皆さんの健康をとっても考えられていると感じました。町の保健室の話聞いたときは、羨ましくて名張に住みたいなと思いました。もともと医療にはあまり関心がなかったのですが、この講義で医療・福祉・健康に関する制度をどのようにすべきかについて興味を持ちました。将来公務員を目指しているので、名張のまちづくりを知れたことは良い学習になりました。気づいていないだけで地元にも魅力的なことがあるかもしれないので、自分が住んでいる地域のことももっと知りたくなりました。そして、座学だけでは実感できないことを感じられたので、フィールドワークは大切だと思いました。とても有意義な4日間をありがとうございました。

三重大学
生物資源学部1年



三重大学
看護学科1年

今回の集中講義を通して、あまり知らなかった名張について学ぶことが出来ました。名張の保健・福祉の手厚さはすごくて、羨ましいと思うと同時に、名張に住んでいる人が地元を想う気持ちを身をもって感じることができ、良かったです。特に、まちの保健室や図書館が介入した健康イベント等は生活の延長線上にあり、参加するハードルを下げている他の県内外の地域も参考にすべきだと思いました。また、今回の講義を通して昔ながらのお店や豊かな自然、ひやわいなど名張の街についても沢山知ることができて時間をかけても現地に行って良かったと思えました。診療所や病院見学では、看護師として数年後に働く姿がより鮮明なものとなり、モチベーションに繋がりました。この4日間を通して、たくさん知識を蓄えたり、体験したり、学ぶことを楽しみながら出来てとても意味のある時間になりました。この4日で学んだことを意識して、これからの学生生活を過ごしたいと思います。とても有意義な時間をありがとうございました。

4日間ありがとうございました。私は愛知県出身で、名張市のことはあまり分からない状態で参加しました。4日間で、交通の便が悪くて、コンビニもなくて不便だなと思うこともありましたが、市の人の話をたくさん聞かせていただいて、便利さよりも、自然の豊かさや人柄の良さ、地域の温かさに気づくことができました。私自身、普段三重県で生活していて、不便で愛知県で就職したいなと思うこともあり、そういう人は多いと思います。その結果、地域の高齢化や人口減少、それによる後継者不足で伝統が廃れていくということが起きてしまっていると思います。そして、自分の住む地域への誇りがなくなり、最終的に生活が難しくなるというような状況へと陥ってしまうと思います。それに対して名張市は、町を大きく変えるわけではなく、地域を守るための取り組みをされていて良いと思いました。様々な取り組みがありますが、全体で共通していると感じたのは、高齢者へのサービスだけでなく、子供や子育てをする親世代への支援が充実していることです。高齢化が進む名張では、つい高齢者への支援を充実させたいと思いますが、将来のために若い世代への支援を行うという、違う角度からの取り組みが名張の地域性を生んでいると思いました。また、医療制度についても、患者だけでなく地域全体を見るということは必要だと分かっているにもかかわらずできないことだと思います。そこで、まちの保健室などで市と協力したり、とにかく地域の連携がすごいなと思いました。まだ課題はあると思いますが、名張の人達なら楽しく改善していけるのだなと感心します。この4日間を通して、普段考えないようなことを考え、なんとなくでは気づけないことに気づくことができました。台風などで大変なこともありましたが、とても楽しく、貴重な経験となりました。ひとつひとつの経験をこれからの人生で思い出しながら、ヒントにしていきたいです。本当にありがとうございました！！！！



三重大学
看護学科1年

この授業を受けようと思ったきっかけとして名張市に自分自身あまり足を運ぶ機会が少なかったため地域医療の現状を知りそして、三重県のまだあまり知らない文化を勉強出来ると思い受けようと思いました。

この4日間で特に記憶に残ったことは組紐体験と街歩きとはしもと総合診療クリニックでのお話です。

まず組紐体験は実際作る機会をもうけてくださり、楽しく夢中になれてとても思い出深いです。組紐が名張で伝統品になっている事をまず知らなかったので知れて嬉しく、浴衣の帯にまく紐が組紐で作られていることも知れてもっと身近で使われているものはないかと探すようになりました。

街歩きでは名張の中町の方を歩いて散策しました。空き家やシャッターのお店がある現状を知り、名張市の歴史を絶やさないためにどう改善していくかを改めて考えさせられました。また名張市だけでなく自分の地域でも高齢化が進んでいるため次の若者がしっかり伝統を繋いでいく必要があるのだと思いました。

橋本先生のお話では実際に看護師として働く中で仕事が出来ることとても大切ですが、それ以前に人とのコミュニケーション能力の大切さに気づきました。患者さんとのコミュニケーションは、お話をするだけでなく病気の原因を探ったり患者さんの気持ちを楽にしたり色んなことが可能となります。そのため自分も実習や授業を通してただ話すコミュニケーション能力だけでなく、相手のことを知れるコミュニケーション能力をしっかり鍛える必要があると思いました。

上の3つだけでなくなかじろう先生や山口館長のお話やすごろく作りなど普通の授業ではできない経験が出来てとても嬉しかったです。また三重県の知らなかった歴史や伝統に直接触れ合うことができ、もっともっと知りそれを受け継いでいきたいと思いました。



三重大学
看護学科1年

この授業を受けようと思ったきっかけとして自分の全く知らない分野である「医療・福祉・健康」に少しでも触れて学んでみたいという考えがありました。四日間のフィールドワークを通して各施設、人たちに共通して「福祉の手厚さ」を実感しました。また、それらの活動の大部分が住民主導と聞いて驚きました。名張市が合併するか否かの住民投票で合併しないを選択したからこそ、頼るという選択肢の前に自分たちでどうにかするという前提意識が芽生えているのはすごく素敵だし尊敬に値すると思いました。少子高齢化が進む名張で終わり方、諦め方を考えるのではなく自分たちのできる範囲でこの町をよりよくしていこうという発想、想いがこの町を支えていて元気な高齢者も多いことに繋がっているのかなと思いました。生き方、考え方の多様化してきている現代で昔のような子供がたくさん生まれる時代というのはもう来ないと考えられるけれども、その事実絶望せず、「どうしたらこの町が続いていくか」を考えることは、その地に住む人々が知恵を絞って考えていかなければならないと思うし、それを体現できている名張市、名張の人々が多くいることは何事にも代えがたい財産だと思います。自分たちで考え行動のできることは「生きていることの実感」に繋がり自然と幸福感に繋がっていると考えました。またそのほかにも図書館での健康診断や読み聞かせ、はしもと総合診療クリニックでの病気はその背景にある上流からという考え方や、ちいかけんでの地域に寄り添って診療所の外まで元気にするという理念やなかじろうという皆に親しまれるキャラクター、地元の歴史を学べる場所、子ども食堂などの存在があることも名張の人々が生きていくうえでの幸福感に寄与していると思えました。田舎は何もないと捉えられていますが、山に川に、その地を愛する人々がいることが何よりの強みだと思っています。物質的な豊かさはなくても心を豊かに生きることのできるのが田舎の強みだと思います。その中でも名張市は様々な取り組みが進んでおり人と人の繋がりが広がっていたので心が穏やかに暮らすことができると思い羨ましくもなりました。これからも続いてほしいなと願っています。それと同時に自分が住む町の未来は自分たちで決めていかなければいけないなと痛感しました。

自分はこれから農業に携わっていきたいと考えていて、農林水産業を起点に地方を強くしていきたいと考えています。その中で今回学んだ名張市の医療・健康・福祉についての取り組みがヒントとして生きてくることがあるかもしれないと思っています。自分の知らない分野を垣間見ることができてこの4日間はすごく有意義であったと思います。どうもありがとうございました。



三重大学
生物資源学部1年

謝辞

本講義の実施にあたり、多大なるご協力を賜りました
名張市様および地域住民の皆様にご心より感謝申し上げます。

